

## 2023年度 学童保育指導員研修レポート

### 怒りの理解と対処—子どもの感情のコントロールに必要なこと—

【クラブ】(風の子クラブ)

【名前】(東 和江)

感情のコントロール、という言葉が目にとまり受講したいと思いました。

「感情を怒りでしか出せない」という講師の言葉は学童期の自分を思い出し、怒りの感情をぶちまけてしまう子どもの行動も、そういうことか…。とハッとしました。

理解してもらえない悔しさ、悲しみ、その第二次感情が怒りであることを経験していたはずなのに、と振り返りながら聞いていました。

そして、ワークでは「最近怒ったことは？」でしたが、何も書くことができない自分に驚きました。ネガティブな感情を出すことが悪いことだと頭の片隅にあった気がします。

保育中に泣いている子どもに「気が済むまで泣いたらいいよ」と声かけするのは、泣くことを許されない家庭環境だったのかもしれませんが、感情を出すことは大切だと思っていて、感情を受けとめてくれる存在がいるということは変わるきっかけにもなるのではないかと思います。怒りの奥にはなにがあるのか、元の感情はなにがあるのか、子どもがこの人なら話せるという安心感は自分にあるのか、あの時は違う声かけだったのでは…？と日々の関わりや声かけを振り返り、考えた時間でありました。ネガティブな感情を出すことは悪いことだと思ってほしくないな、出し方を一緒に考えていけるようになるといいなと思います。

専門的で、ん？どういうことだ？とっていると鬼滅の刃のアニメキャラクターを例に説明して下さったのはとても斬新で面白く、わかりやすかったです。1つ受講できなかったのは悔やまれるくらい、受講してよかったと思いました。